

## 第3章 お寄せいただいたご意見（抜粋）



### 第3章 お寄せいただいたご意見（抜粋）

#### 第1節 調査票

##### 1. 広告物

###### <有害情報を得たときの状況>

あらゆる道路の電柱にピンクチラシが数多く貼られている。

###### <有害だと感じた理由>

現代社会では、小中高生の子どもの多くが、携帯電話を持っていて、いたずらに電話をして危険でもあり有害でもある。

###### <取り組んだ事例>

平成15年4月1日より市の都市計画と協力し、市長より屋外広告物美化委員の委嘱を受け現在50名の会員の協力を得て毎日の生活の中でそれぞれの担当地域を見回り除去しております。

###### <行政や業界へ望むこと>

市町に対し、強固（違反広告に対し）な罰則条例を作るよう話し合いをしております。  
(福井県・男性・60代)

###### <有害情報を得たときの状況>

市内の中学校及び高等学校近くの電柱・ガードレールにチラシが貼ってあった。

###### <有害だと感じた理由>

このようなチラシについて、正確な情報を子ども達は知らないし、大人達も正確には知らない。子ども達が好奇心で安易にこのチラシに記載されている番号に電話をして、事件や事故に巻き込まれることが予想されるため問題だと感じた。

###### <取り組んだ事例>

私自身、市職員であり、違反広告物除去活動ができる資格を持っているので、すぐに除去した。また、市内の他地域で同様なチラシがないか、青少年育成推進員に情報提供のご協力をいただいて、違反広告物があった場合にはすぐに除去した。

###### <行政や業界へ望むこと>

このようなチラシがどのような内容で、どのような組織がやっているのか。このような違反広告物は全国どこにでもあると思うので、是非とも正確な情報を教えて欲しい。  
(群馬県・男性・30代)

###### <有害情報を得たときの状況>

マンションの集合ポストに投函されていた（チラシ同封）。キャッシングや出会い系の小さなチラシが時々ポストに投函されている。

###### <有害だと感じた理由>

とても気軽にお金を借りることができる、又は電話やメールできるのでポストを開いた時、子どもがそれを見て行動をおこしてしまうのではないかと。

<取り組んだ事例>

特別に取り組んだ…とは言えないが、親が子どもの目に入らないようすぐにそのチラシを処分した。『有害ちらしお断り』のシールをポストに貼ってはいるが、あまり効果がないような気がします。

<行政や業界へ望むこと>

有害ちらし配布の取締り、業者への罰則の実施。

(東京都・女性・40代)

<有害情報を得たときの状況>

「性」を売り物にした広告が電柱や電話ボックスに置いてあるのを見ました。貼られる電柱や電話ボックス（ヌード写真や出会いサイトのチラシ等）は、街の中心より離れた場所です。

<有害だと感じた理由>

街の中心から少し離れていても、誰でも利用出来るので、有害だと思います（メインストリートより横道に入った場所ですが、車が多く通る道路にあります）。

<取り組んだ事例>

年に2～3回電柱のビラはがしを実施しています。地区の少年補導員の方々と、2～3ヶ所に分かれて、電柱をきれいにして喜ばれています。

<行政や業界へ望むこと>

地区によっては電柱をきれいにしても翌日また貼ってあったという報告がありました。それを聞いてがっかりしました。厳しい罰則をお願いしたい。

(宮城県・女性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

ラブホテル周辺の広告物（電柱や壁に貼ってあるチラシ、看板）。周辺道路を通行中に見ることが多い。

<有害だと感じた理由>

広告物にケータイの電話番号が掲載されており、青少年が架電する可能性がある。

<取り組んだ事例>

地域青少年相談員の活動として、地元警察署と合同で定期的に看板等の除去作業を実施している。

<行政や業界へ望むこと>

通学路等を中心として広告物の掲載規制と同時に、地域全体で取り組む事業モデルの推進。

(千葉県・男性・40代)

<有害情報を得たときの状況>

電柱・電話ボックスに貼られたり、置いてあったりするピンクビラ。

<有害だと感じた理由>

電柱・電話ボックスに貼られたり、置いてあったピンクビラを見て小学生（女子）が、

電話を掛けてその場所に出掛けて行ったという事件。その小学生は、現場に行ったが、自分の思っていた人でなかったのが、帰って来て無事であったという。

<取り組んだ事例>

少年指導員はパトロールの時にビラをはがす「へら」と袋を持って、見つけ次第取りまくりましたが、又すぐ貼られる事1年間ぐらい続けました。少年補導員だけでは大変という事で、行政、警察、市民の協力を得まして今ではきれいな市になりました。

<行政や業界へ望むこと>

一団体だけでは出来ないこと、行政、警察、学校市民の協力が必要であると思いました。  
(千葉県・女性・70歳以上)

<有害情報を得たときの状況>

住宅地の電柱、壁に一夜にしてチラシが貼られる。内容はサラ金関係から女性（一部に男性）の斡旋に関するもので地域住民、関係者から対応すべしとの声があがった。

<有害だと感じた理由>

地域に営業の拠点が出来てしまう事や安易に活用する事例の発生。

<取り組んだ事例>

関係機関と連携する事で徹底的に排除（はがし）作業を実施。電力会社、電話会社との連携で効果が上がった。

<行政や業界へ望むこと>

「営業活動の自由」を言われる事がある。制限する事が全てではないが「常識的な活動」を話し合う場作りとその情報を関係者に周知する事。

(新潟県・男性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

通勤途上（マイカー通勤）、大きな交差点角の電柱に裸に近い女性のコピーと携帯電話番号を書いた広告物を数回見ている（場所：福井市豊島交差点、板垣交差点、他）。

<有害だと感じた理由>

当該地は、小、中、高校生の通学路であり、性的刺激を（不清浄な）与えるもので、かつ、携帯番号という誘いを招くものである。

<取り組んだ事例>

当該地は勤務地であるが、生活圏である越前市周辺において、同様広告物の撤去を行っている（越前警察署、少年警察協働員会の活動として）。

<行政や業界へ望むこと>

いたちごっこではあるが、とにかく青少年（特に子ども達）に触れさせたくないものは大人がそうさせないように行動することであり、行政はこれら活動している組織の支援（金銭的なものでなく）協力をしていただきたい。

(福井県・男性・50代)

<有害情報を得たときの状況>

風俗の広告物、ハガキを見た。

<有害だと感じた理由>

店の前、自宅のポスト（新聞受け入れ）の中に入っていた。

<取り組んだ事例>

配っている人にバイトでしているの？どんな人に頼まれたの？と聞いてみたが返事はなかったです。

<行政や業界へ望むこと>

きれいな模様で目につくハガキを各家のポストへは入れて欲しくないと思います。

（広島県・女性・60代）

<有害情報を得たときの状況>

書店にて。

<有害だと感じた理由>

活動の結果が少し出て少なくなっていた。

<取り組んだ事例>

書店主と話し合い。

<行政や業界へ望むこと>

有害売りの廃止を行政の取組みで願いたい。

（香川県・男性・70歳以上）

<有害情報を得たときの状況>

道路わきの電柱に、買春を誘うポスターがベタベタと貼りつけてあった。

<有害だと感じた理由>

青少年（特に女子中学生、高校生）が性の被害に合う可能性が高くなる。

<取り組んだ事例>

違反広告物除却サポーターの資格を取り地域の人と共同で除去をした。今後も取組みたい。

<行政や業界へ望むこと>

電力会社やNTTにも取組をしてもらいたい。

（宮城県・男性・60代）

<有害情報を得たときの状況>

広告物の掲示が目立つようになった時、内容がピンクチラシ等悪化の方向にありそれが他の有害ゴミ（タバコ吸いがら、DVD、雑誌等）の投棄につながりマナーが問題視。

<有害だと感じた理由>

通学路等にも氾濫し、環境悪化は青少年の生活の乱れを知らないうちに悪化させる。

<取り組んだ事例>

「割れ窓理論」の実践から、好ましくないものは青少年の目に触れさせないよう即撤去、

徐去、落書きにも対処、ピンクチラシ等は地域から姿を消した（関係機関と連携）。

<行政や業界へ望むこと>

行政の建前でない現場対応と取締り強化と業界の自主規制（上部の癒着に問題ありか？）。

（新潟県・男性・60代）

<有害情報を得たときの状況>

市内巡回中に数多くの有害広告物を見かけ、撤収作業を行う場所等を検討し集中的に活動をする。

<有害だと感じた理由>

学校周辺、交差点に看板、広告物を目にするので児童、少年に与える有害環境であると考え。

<取り組んだ事例>

年に数回他の団体と共に有害広告物の撤去作業を実施しております。特に学校周辺。

<行政や業界へ望むこと>

広告物に電話等記載あるところへ注意を促す連絡をとること。

（奈良県・男性・60代）

<有害情報を得たときの状況>

青少年のための市民会議の専門部会（環境浄化部会）において、有害環境実態調査を行った際に県道、市道などの電柱に迷惑チラシ（違反広告物）が貼られていた。

<有害だと感じた理由>

通学路や工場（会社）など周辺への人目につきやすい場所（電柱）に過激な迷惑チラシ（違反広告物）が貼られていた。

<取り組んだ事例>

迷惑チラシ（違法広告物）除去活動を行うために青少年のための市民会議専門部会（環境浄化部会）において、県土木事務所よりの「違反広告物除去サポーター講習会」を受講し、「証明書」の交付を受けて、除去活動を行った。

<行政や業界へ望むこと>

常に巡回パトロールなどを行い適切な指導を望みます。

（宮城県・男性・60代）

<有害情報を得たときの状況>

出会系喫茶に代わる営業として行なわれるようになったエステと称する未成年者（18歳未満を含む）が働く店のティッシュペーパー配布の広告が目立つようになった。

<有害だと感じた理由>

広告物のティッシュペーパーの包装には、パンツ一枚の男性に水着姿の女性が密着する写真を転写してある等性的な刺激が表現しており、かつ高収入が得られる旨の文言がある等、青少年が興味を持つ内容となっている。

<取り組んだ事例>

配布されたティッシュペーパーを入手し、PTA等の会合で配布し青少年に対する予防啓発に努めた。

<行政や業界へ望むこと>

警察では、業務内容を取りあげて取締りをしていただいています。

(愛知県・男性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

飲食店街のビルの階段に並べて置いてある。

<有害だと感じた理由>

誰でもが簡単に手にする事ができる。好奇心をあおる。

<取り組んだ事例>

特にはないが見つけた時は撤去している。

<行政や業界へ望むこと>

チラシ、広告の責任者の取締りの強化。

(福島県・男性・50代)

<有害情報を得たときの状況>

私の住んでいる中学校の通学路にあたる道路の至る所、特に交差点の各種電柱に貼り付けられている違反広告物、特に問題になるのがテレクラの貼付チラシです。

<有害だと感じた理由>

多感な男女中学生にとっては、想像以上に有害だと思います。この地区は国道沿線にあり、モーテル等も多く環境は良いとは言えません。環境良化の為にもこの種の違反広告物は無くしたいと思う。

<取り組んだ事例>

撤去作業に当たった事のある、元PTA役員の方、生徒指導の先生などから断片的ではあるが、手続きや方法、留意点など情報は得ましたが、撲滅を目指した定期的な撤去活動には至っていない現状であることを知りました。

<行政や業界へ望むこと>

美化を損ねるだけでなく、ごく一部の人間以外には有害としか言えないものであり、貼付の取締りを強化する方向を打ち出して欲しい。警察関係者を含んだ、撤去班づくりを大規模に立ち上げ、一掃出来るようにして欲しい。

(宮城県・男性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

住居(マンション)の郵便受けに、風俗チラシ(体感マッサージ、若い女性の下着姿等)が投げ入れられる。

<有害だと感じた理由>

小学高学年、中学、高校生が見ることがある。



<取り組んだ事例>

当該チラシに記載されている電話で、投函を止めるよう注意したが、対応した者は“責任者ではない、分らない”と言を左右している。

<行政や業界へ望むこと>

地域（行政、警察、家庭）で運動を起こす必要がある。

（福岡県・男性・70歳以上）

<有害情報を得たときの状況>

駅近辺の歩道橋のランカンの裏にシールが貼られており、そこに出会い系サイトの電話番号が記載されていた。同様なチラシが電話BOXに置かれていた。

<有害だと感じた理由>

上記電話番号に電話を掛けた後の問題が起こる危険がある。

<取り組んだ事例>

所轄の警察に連絡、依頼した。市の環境課へ連絡。

<行政や業界へ望むこと>

もう少し見廻って撤去して欲しい。業者への注意を希望する。

（神奈川県・女性・70歳以上）

<有害情報を得たときの状況>

多くの電柱等に有害と思われる広告物。キャッシング、テレクラ、バイアグラ、その他。

<有害だと感じた理由>

学校近くや、青少年等が多く、目に入りやすい。

<取り組んだ事例>

青少年推進会議等で話題にする。

<行政や業界へ望むこと>

広告物の監視の徹底。

（岐阜県・男性・60代）

<有害情報を得たときの状況>

電信柱へのビラの貼り付け。

<有害だと感じた理由>

書いてある電話番号へ子どもがかけてしまう。

<取り組んだ事例>

ビラはがしをしました。

<行政や業界へ望むこと>

有害なビラを貼る業者とのイタチごっこになりますが、相手があきらめるまで取り続けるしかないと思います。取る為の人手の協力を要請します。

（埼玉県・女性・50代）